

令和7年度 学校評価に関するアンケート結果について
 学校評価（教職員）アンケート
 A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない

設 問	R 6年度				肯定的評価の割合	
	A	B	C	D	R7	R6
1 学校は、教育目標や学校経営の方針を分かりやすく伝えている。	67%	33%	0%	0%	100%	100%
2 学校は、事故や問題等に丁寧に対応している。	67%	33%	0%	0%	100%	94%
3 学校は、児童が安全で過ごしやすい学習環境に配慮している。	40%	60%	0%	0%	100%	94%
4 学校は、学年だよりやホームページ等で児童の様子を伝えている。	53%	47%	0%	0%	100%	100%
5 学校は、保護者や地域からの相談や要望に対して、適切に対応している。	47%	53%	0%	0%	100%	100%
6 学校の授業は、分かりやすく工夫されている。	13%	87%	0%	0%	100%	94%
7 学校は、児童に思いやりのある豊かな心を育てている。	40%	53%	7%	0%	93%	100%
8 学校は、児童の体力の増進に努めている。	13%	87%	0%	0%	100%	100%
9 学校は、児童に確かな学力を付けている。	0%	93%	7%	0%	93%	94%
10 学校は、いじめ対策に真剣に取り組んでいる。	73%	27%	0%	0%	100%	100%
11 学校は、特別な教育的配慮が必要な児童を含めて、1人1人をよく見取り、その子にあった個別指導を行っている。	13%	87%	0%	0%	100%	100%
12 学校は、PTAや地域に対して協力的である。	60%	40%	0%	0%	100%	100%
13 児童は毎日楽しく登校し、学校や学級が楽しいと言ったり思ったりしている。	20%	80%	0%	0%	100%	100%
14 児童は、家庭や地域でも、あいさつがしっかりできている。	0%	60%	33%	7%	60%	65%
15 児童は、毎日宿題や自主学習など、家庭で一定の時間学習している。	0%	80%	13%	7%	80%	76%
16 児童は、基本的な生活習慣（早寝早起き朝ご飯、歯磨きの習慣等）が定着している。	7%	93%	0%	0%	100%	71%
17 学校の環境はきれいだ。	27%	73%	0%	0%	100%	100%
18 家庭・学校・地域連携推進事業（家庭教育学級）で学習した内容は、子育てに役に立っている。	33%	67%	0%	0%	100%	100%

<考察>

○全体的には、「Aそう思う」「Bややそう思う」という肯定的な回答を合わせると、18項目中14項目が100%、2項目が90%以上であり、概ね学校の取組や児童の成長の姿に対して、教職員として一定の成果が上がっていると捉えていると考えます。

○令和6年度の評価と比較すると、5つの項目について割合が増えています。学校安全や学習環境、授業改善、家庭学習及び基本的な生活習慣における成果です。これに対し、豊かな心の育成とあいさつ、学力の3つの項目においては割合が減少しています。一方、設問7については、保護者アンケートでは割合が増えており、逆に設問6、14、15については、保護者アンケートでは割合が減少しています。設問7については、実際に見た姿に対する評価ではありますが、求める姿の差異が結果に表れているとも考えられますので、発達段階における目指す姿を共通認識するとともに、道徳の授業や学級活動等での指導の充実を軸に、日々の啓発と実践を積み重ね、改善していく必要があります。設問14、15については、保護者アンケートと増加、減少の違いはありますが、いずれも比較的低い評価となっています。職員からあいさつをする、家庭学習を具体的に示し評価するといった地道な取組を続けるとともに、家庭への理解と協力を呼び掛け、定着するよう努めます。

○保護者との認識の違いが大きいのは、設問6、16です。設問6については、「できた」「わかった」が感じられるよう、日々授業改善を行い、授業力の向上を目指し、それが児童の学力向上につながるよう努めていきます。設問16については、学年や発達段階に応じて身に付けるべき生活習慣を保護者とも共有し、共通指導していくことや、家庭と学校の様子を共有し合うことで、同じ温度感で児童の指導、支援できると考えます。今年度の取組を振り返り、成果と課題をより細かく分析することで、次年度へ活かしてまいります。

